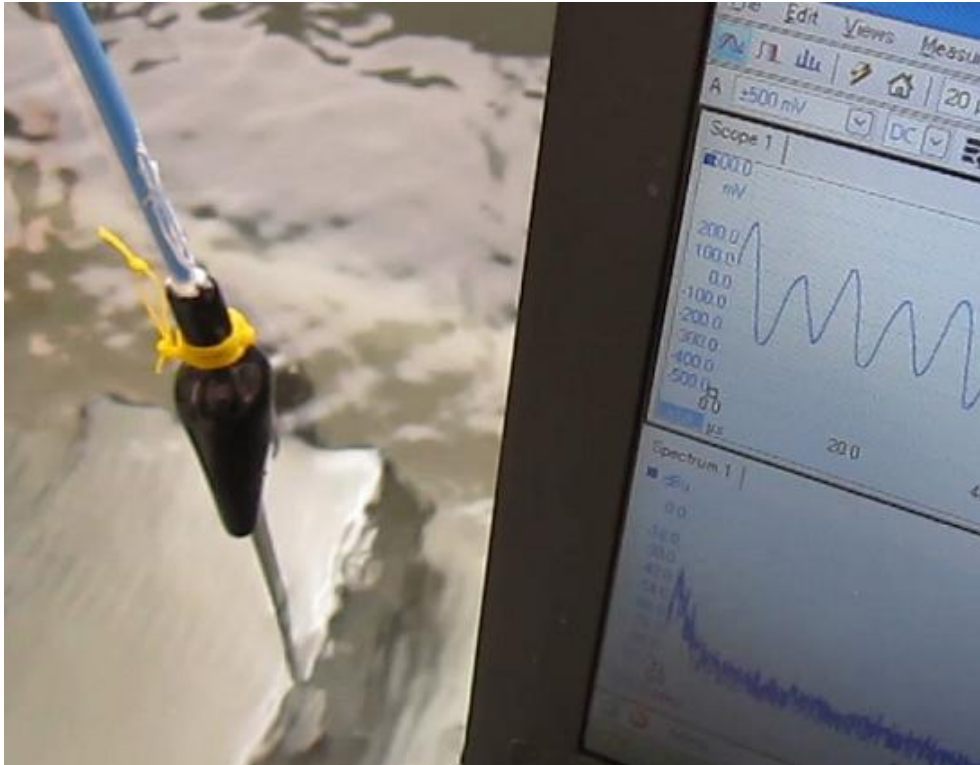


超音波テスター

SSP-2012

仕様書 抜粋

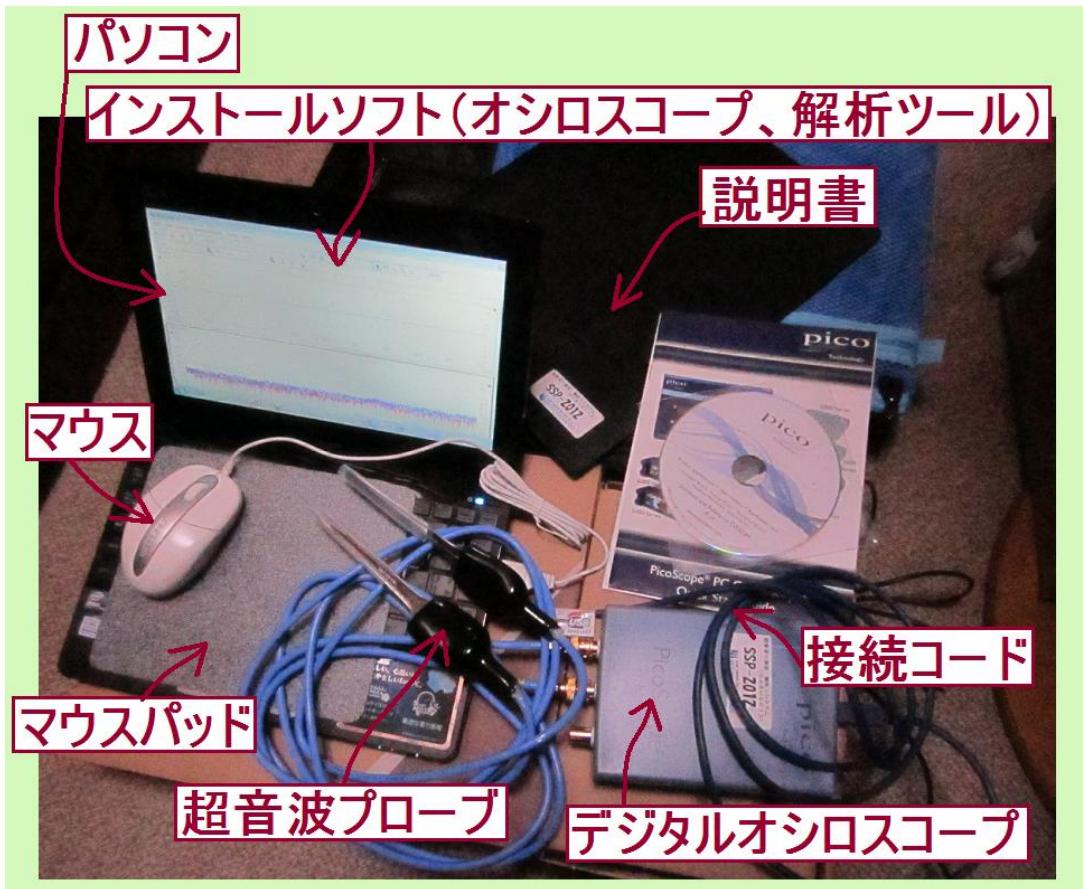


品番 120A16 : タイプA

超音波システム研究所

Ver 3.0

概要



オプション



仕様

オシロスコープ (USBオシロスコープ)

数量 1台

分解能 8bit

チャンネル数 2ch

帯域幅 25MHz

サンプリング周波数 1ch時 200Ms/s

2ch時 100Ms/s

PC接続コネクタ USB

プローブ接続コネクタ BNC

電源 AC100V

周波数 50/60Hz

寸法 100x135x45mm (BNCコネクタは除く)

重量 210g

オリジナル超音波プローブ (標準タイプ)

数量 2本

品番 120A16 : タイプA

コード長さ 1500mm

重量 80g

プラグ 金メッキ

コード太さ 5.5mm

規格 MIL RG-58C/U

全長 1500mm
先端部(ステンレス) 130mm



オプション 特殊超音波プローブ

数量 1本

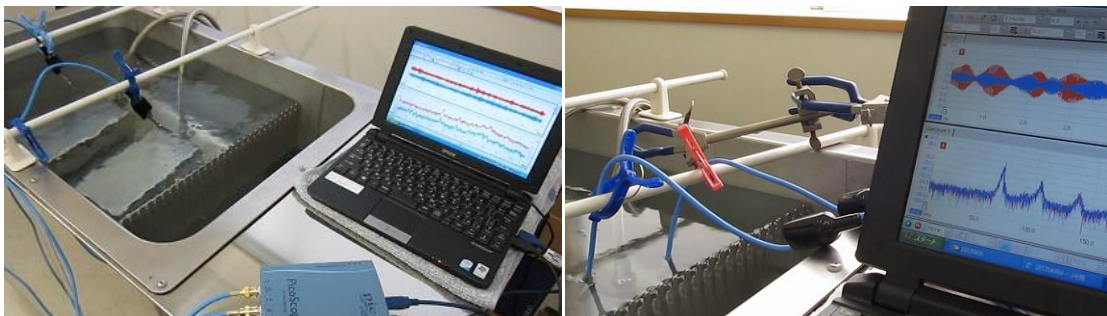
品番 120A16 : タイプB

コード長さ 500mm プラグ 金メッキ

コード太さ 5.5mm 規格 MIL RG-58C/U 50Ω

延長コード 1m 75Ω

接続部品 BNC



注意

プローブの先端部（ステンレスの部分）を水槽内の液に入れる場合
プローブは、洗濯バサミの圧力程度で固定する
(強すぎたり、弱すぎたりすると、ノイズの原因になります
強すぎ：レンズ効果により特定の周波数のノイズ
弱すぎ：低周波の揺れによるノイズ)

注意

プローブの先端部は振動の検出部です
取り扱いに注意してください

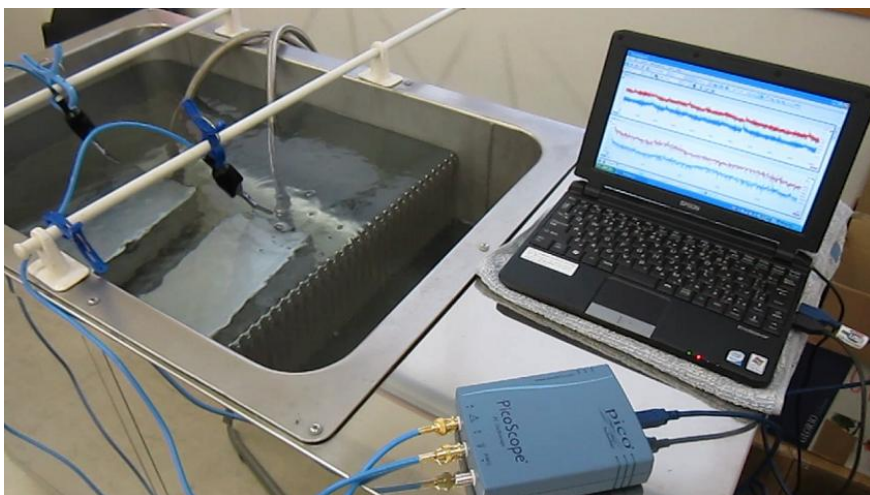


図5-1 標準的な設置例1

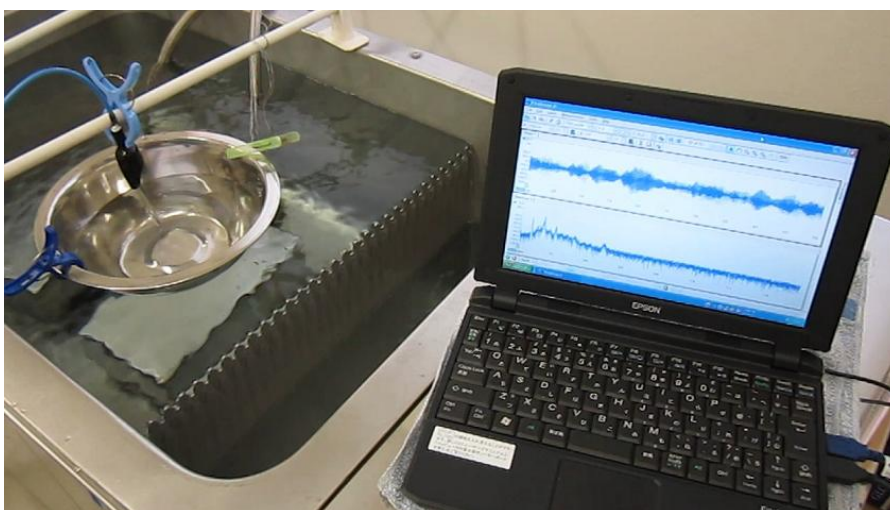


図5-2 標準的な設置例2

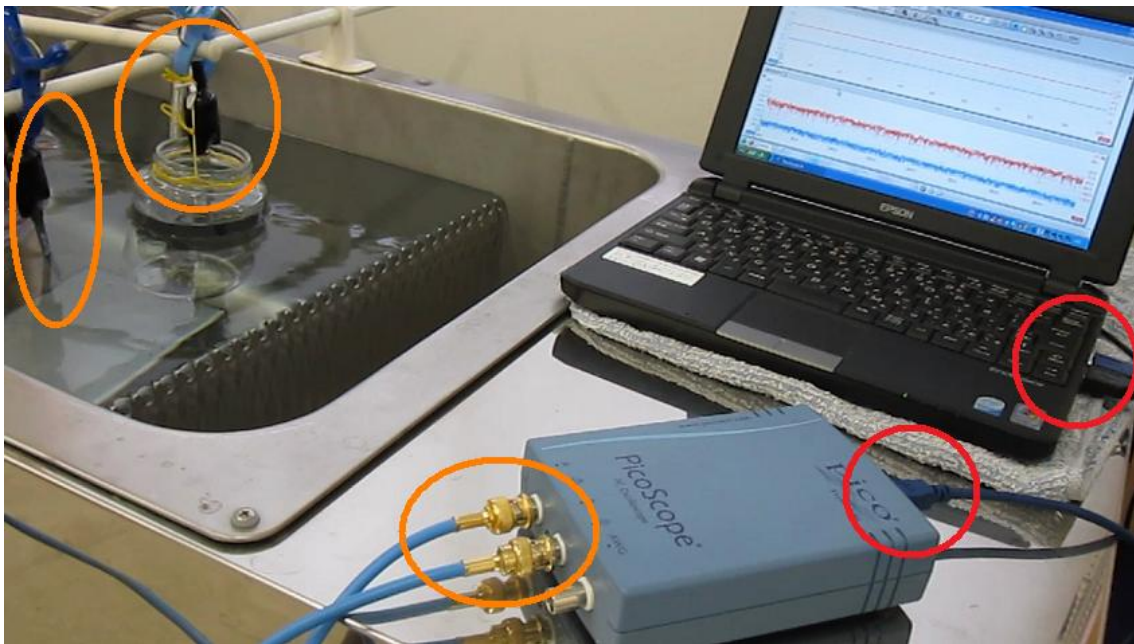
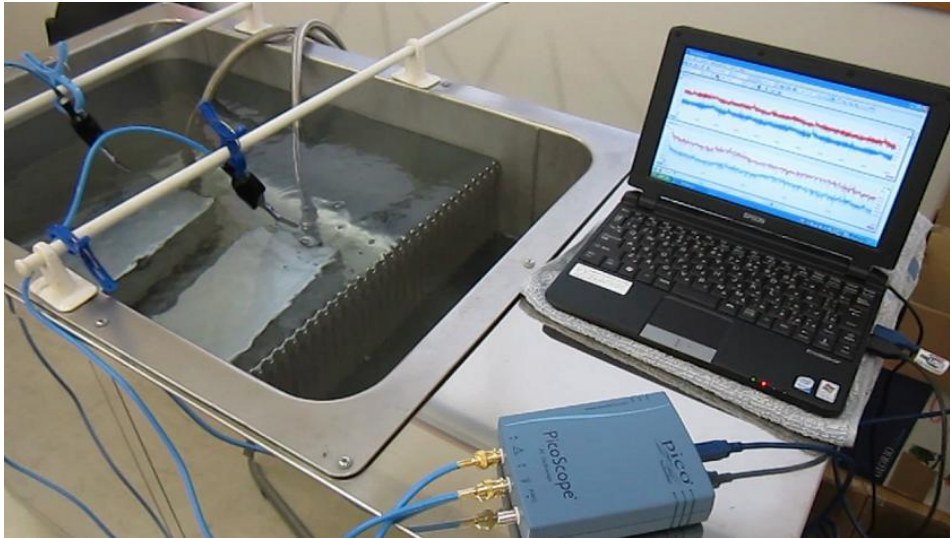
<超音波プローブの設置>

屋内で水のかからない、粉塵の少ない場所に設置して下さい。
洗浄槽にプローブのステンレス部分を液中に入れる場合は
プローブのシリコン部分が液に接触しないように設置して下さい。

禁止 超音波プローブは、完全防水構造ではありません。
屋外や水のかかる場所で使用しないで下さい。

行動 接続する配線はノイズを小さくするために、可能な範囲で短くして下さい。
正しい性能が得られません。

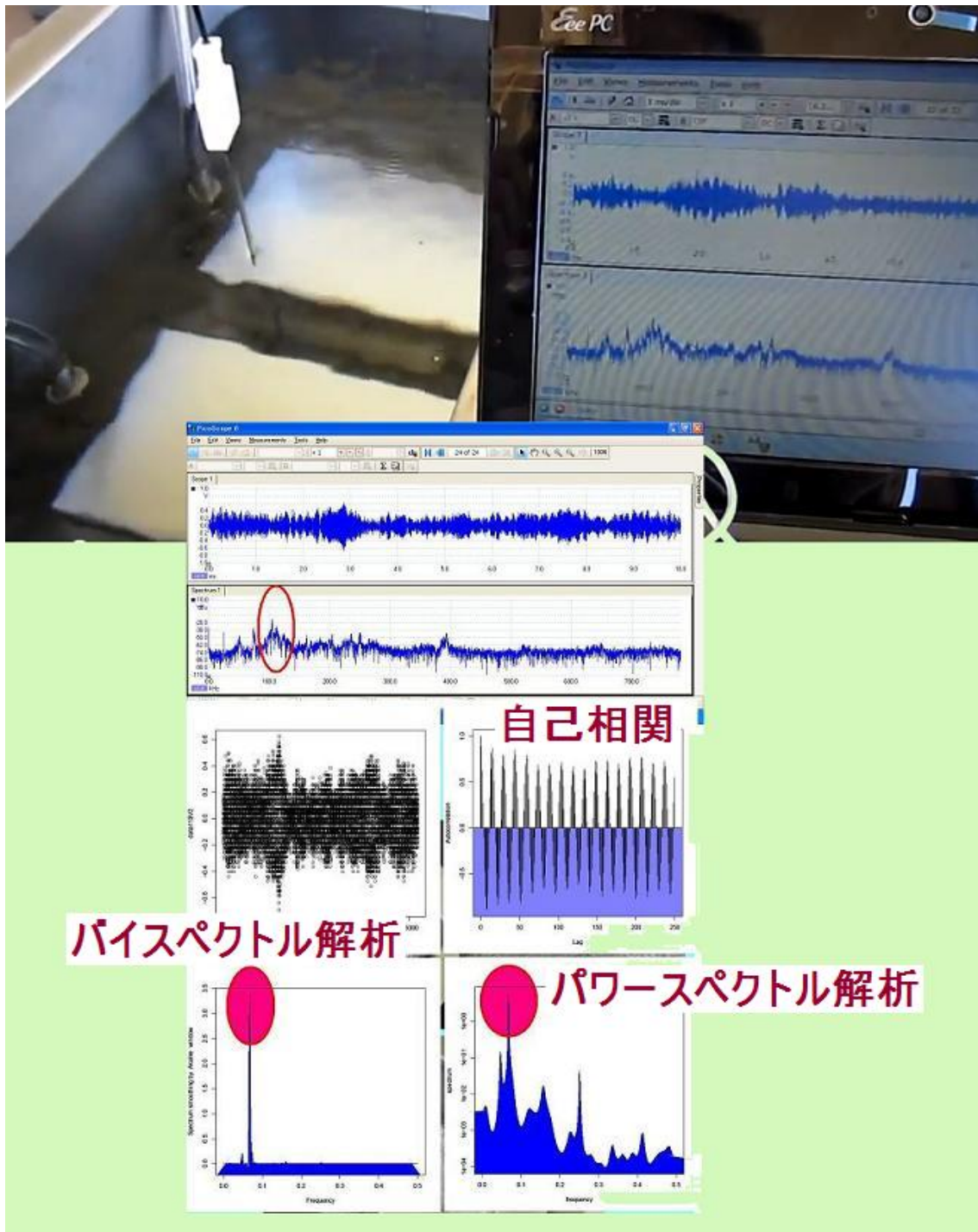
接続： 下記の写真のように
超音波プローブを装置（デジタルオシロスコープ）に接続する

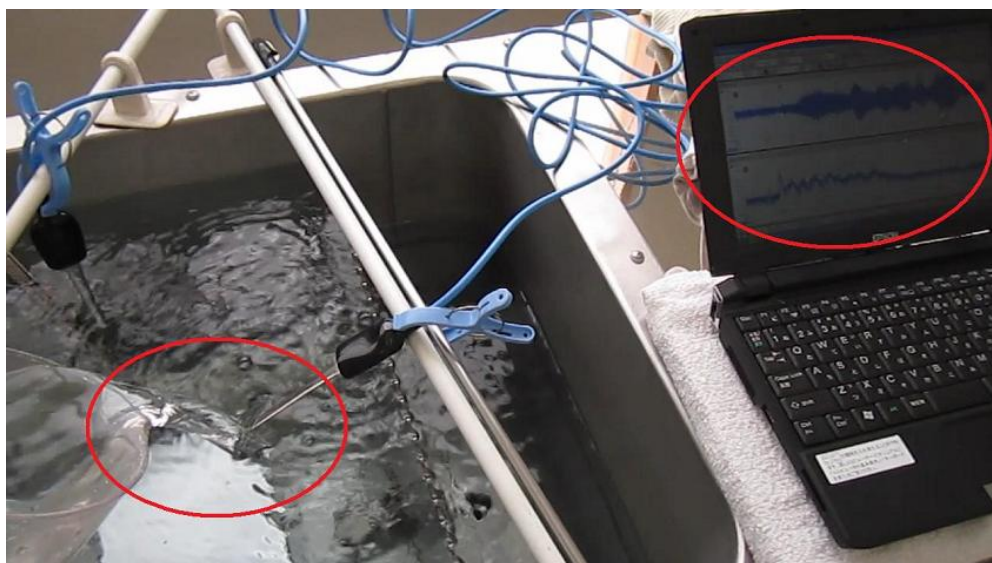


- 1：オシロスコープとパソコンの接続（赤い丸の部分）
- 2：オシロスコープと超音波プローブの接続（オレンジの丸の部分）

参考

(超音波計測・解析)





流れる水に伝搬する超音波の測定状態です



注意：参考事例です

直接振動子に接触させないでください

高い音圧により故障の原因になります

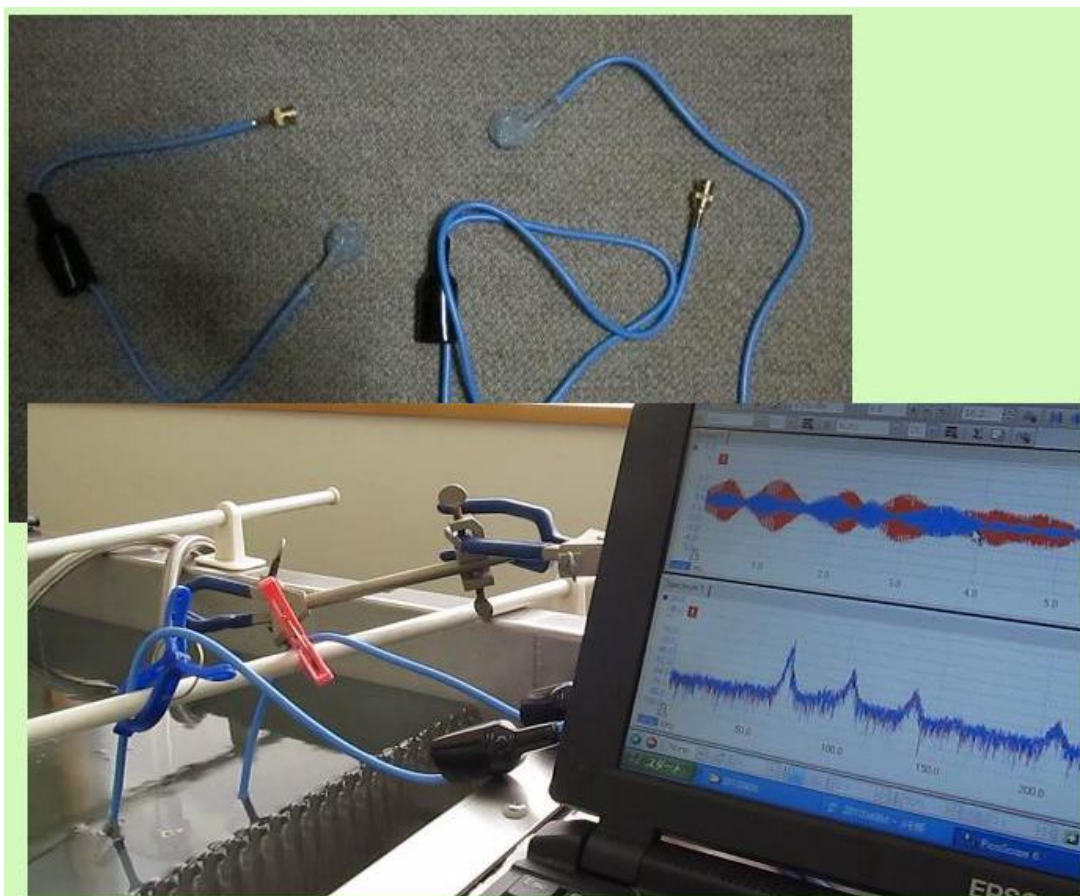
原則として

水中にすべて入れた状態での測定は

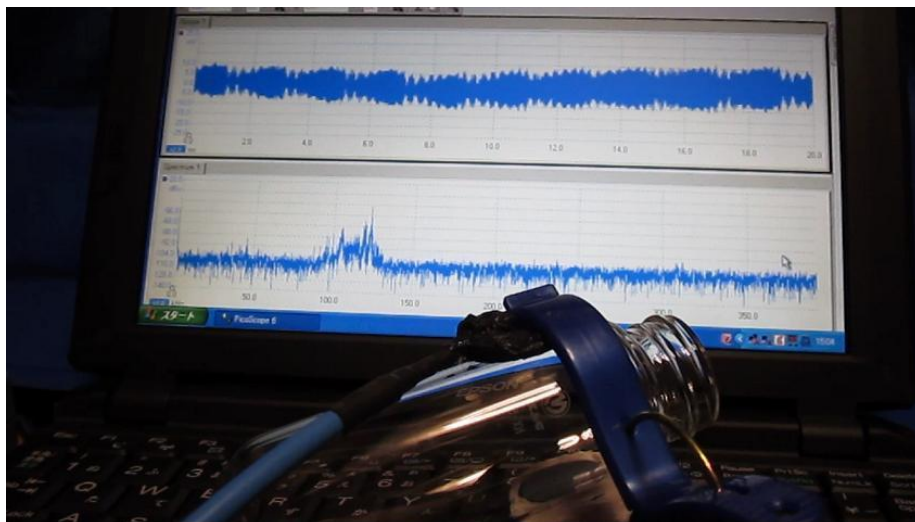
5分以内としてください

水中から出した時には、コード部等の水分を拭き取ってください

オプション (特別タイプ)



特別タイプ



超音波テスターによる部品検査技術

インパルス応答 (時間領域での伝達特性)
 振動特性の解析 (各振動成分の振幅・位相)
 共振周波数・減衰定数・遅延時間・位相遅延
 共振周波数・減衰定数・遅延時間・位相遅延

多変量自己解析モデルによる
 フィードバック解析

超音波<測定・解析>システム

2種類の超音波振動子を利用した
 << 超音波制御技術 >>

インパルス応答 (時間領域での伝達特性)

振動特性の解析 (各振動成分の振幅・位相)
 共振周波数・減衰定数・遅延時間・位相遅延
 共振周波数・減衰定数・遅延時間・位相遅延